

東労基発0720第1号
令和5年7月20日

一般社団法人東京都警備業協会
会長 村井 豪 殿

東京労働局労働基準部長



警備員の車両誘導中における労働災害防止の徹底について（要請）

平素より労働安全衛生行政に御理解及び御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年の都内における警備業の労働災害発生状況については、死亡者数は令和5年7月10日現在で2人（前年同期比同数）、休業4日以上之死傷者は令和5年6月末日時点速報値で136人（前年同期比-8人、-5.6%）と令和元年以降に死亡者数、死傷者数ともに最も多かった前年と同水準で推移しております。

近年においては、毎年、建設現場や公道における車両誘導中の死亡災害が発生しており、本年も車両誘導作業において後退中の車両に轢かれる死亡災害が発生しました。

警備員の車両誘導中における労働災害防止を図るためには、車両との接触防止対策や警備員に対する安全教育の強化とともに、建設現場においては施工管理を行う元請事業者との連携が必要不可欠です。同種の労働災害を防止するため、貴協会の傘下会員に対して、下記の事項を重点とした労働災害防止対策を徹底していただきますようお願いいたします。

記

- 1 警備員の作業や配置に係る計画段階における的確なリスクアセスメントの実施と同計画の周知徹底
- 2 作業指揮者の配置や車両との接触防止対策の徹底
- 3 車両誘導作業に従事する者への安全教育の実施
- 4 建設現場における元請事業者との連携強化

【近年に発生した車両誘導中における警備員の死亡災害事例】

(東京労働局管内)

	発生年月	発生状況
1	令和5年 7月	運転手が4tダンプトラックをバックして移動させようとしたところ、警備員に激突し、倒れた警備員が轢かれた。
2	令和5年 2月	車両入口にて、車両誘導業務のため立哨中、突然意識を失い後ろ向きに倒れ後頭部を打撲し、死亡した。
3	令和4年 10月	警備員が建設現場内にあった2台の車両(トラック)を退出させ、ゲート前の定位置に戻り待機していたところ、一旦場外に退出させた車両が後退してきて、背面から轢かれた。
4	令和4年 8月	公道上のガス管敷設工事現場にて、交通誘導を行っていた際に倒れ、熱中症で死亡した。
5	令和3年 9月	公道で車両誘導中、誤って急にバックしてきた車両に轢かれ、車両とブロック塀の間に挟まれた。
6	令和3年 6月	駅前の路上にてバスを誘導している際に転倒し、バス後輪に頭部を轢かれた。
7	令和3年 6月	土木工事現場で車両を誘導していた被災者にトラックが接触した。
8	令和2年 12月	トンネル工事現場の交通誘導員として入場し、所定の作業場所である出入口付近に向かって歩いていたところ、掘削した土砂の搬出作業で走行中のダンプに接触した。
9	令和2年 9月	工事現場の車道で工事車両が停まっていたので、追突防止の為に幅寄せ誘導を行っていたところ、前方から来たバイクに追突され、その反動で工事車両に激突した。

